



第12回 ゆあさ行灯アート展の開催



4月29日(日)～5月3日(木)の5日間、伝統的建造物群保存地区で第12回ゆあさ行灯アート展(主催:湯浅まちなみの会)が開催されました。今年は5日間のうち1日は雨天による室内展示となりましたが、例年どおり町内外より多くの人が訪れ、行灯が灯る風情のある町並みを散策されました。



▲開式のあいさつをする上山町長



▲湯浅美味いもん蔵

「湯浅美味いもん蔵」 オープニングセレモニーを開催しました

湯浅美味いもん蔵の営業開始を記念し、平成30年4月27日(金)にオープニングセレモニーが開催されました。地元住民をはじめ多くの関係者が参加し、湯浅美味いもん蔵及び湯浅まちなこと醤油博物館実現にご協力頂いた方々の感謝状贈呈等が行われました。湯浅美味いもん蔵は、現在開催されているツアー「湯浅まちなこと醤油博物館」の壱之棟として観光客を迎えます。

日本遺産認定記念イベントを開催しました

先月号で紹介させていただいたイベントの詳細についてお伝えします！

① 地域未来ビジネスフェア
フリーアナウンサー川田裕美氏の司会進行のもと、ライブショッピングが肖りを開催。各事業者がお勧めする商品のPRを行い、足立氏をはじめとする出演者の皆さんで実際に試食していただいた後、湯浅の特産物の魅力について語っていただきました。PRブースでは、実際に紹介されていた商品のほか多くの商品が立ち並び、来場者のみなさまも興味深く商品をご覧になっておられました。

② 日本遺産記念シンポジウム
マンガ家 里中満智子氏 基調講演
調味料として発展させようとした醤油。その最初の一滴が湯浅町にあることを知りました。そこから毎日お世話になる調味料として醤油の活用が始まり、私たちの食生活が豊かになったと思います。そこで湯浅の私たちがマンガ家ジャパンの味を通過し、湯浅のお味噌やお醤油、それだけでなくお魚やみかんなどの素晴らしい食文化を発信していきたいと感じ、マンガ家の3人が湯浅を訪れたために、美味しいものを作るためにという思いを持って方たちが私たちをもてなしてくれました。そこは食べ物も美しく景色もよく、古い町並みがあり感動しました。また、貴重な醤油づくりも体験することができました。みなさまにも是非、湯浅の特産の美味しいものや貴重な体験を味わっていただきたいです。

醤油を核とした食文化の発信により日本遺産認定の普及活動を行うことを目的に、多方面で活躍される方々と交流を行いました。今後は、活用できる日本遺産認定普及活動を積極的に行って参りたいと思います。

湯浅のすぐところは醤油という文化。また文化などが一体となって日本遺産に登録されているところもすごい。食やおもてなしを世界各國に宣伝していきたい。

湯浅町にはあまり高い建物がなく、古い町並みを感じる。また醤油づくりを、古くから続けられたことに、その土地とそこに人々のパワーを感じる。ゆつたりと楽しめる居心地のいいところ。

醤油がなければ日本料理が成り立たない。醤油のないお寿司。醤油のない日本の食文化など全く想像できない。そんな醤油が日本中に広がったスタートが湯浅町であることを知れた。

湯浅町には甘い香りが漂っている。醤油だけではない、山にはみかん畑が広がっていて、湯浅には甘い香りが漂っている。醤油だけではない、山にはみかん畑が広がっていて、湯浅には甘い香りが漂っている。

